

カラ―■大本山總持寺

巻頭言

特集 ●開創二十五周年記念事業趣意書

●開創二十五周年記念の祝典

●鶴見の本山と瑩山禪師さま

カラ―■開創二十五周年記念式典

特集 ●横浜善光寺留学僧育英会十年の歩み

●設立十周年記念式典の盛儀

●日本佛教との交流 松ヶ岡文庫、鶴見大学、大本山總持寺を歴訪

●〈講演〉伝統は常に新たな創造の根源

カラ―■お便り「横浜善光寺留学僧育英会設立十周年おめでとうござります」

●横濱善光寺留学僧育英会設立十周年記念式典

カラ―■第十回育英生に辞令交付

●第十回育英生辞令交付式 開山忌と理事長母堂三回忌厳修

カラ―■ありし日のお母さまを偲ぶ――三回忌に寄せて――

●特別読物 ●聖徳太子讃仰――善光寺 聖徳太子像奉安にちなんで――

カラ―■聖徳太子坐像

連 載 ●くらしの中で読む『正法眼蔵』

特別寄稿 ●禅の立場から見た日本仏教の現状と課題

●新宗正に老天月下方丈を推戴

声 記念出版『法燈の国際化をめざして』の反響 読者のたより 善光寺ユース留学生からのたより

題字・さしえ 伊藤三喜庵
グラビア 五十嵐千彦

134 132 112 105 101 94 89 85 73 65 60 54 51 45 37 29 21 16 14 10

冠 頭 言

「松に古今の色なく、竹に上下の節あり」といふ言葉があります。時
もまた寸秒の狂いなく、昔も今も変わることなく流れてあります。しか
し、その中にも大小・長短いろいろの節目があります。

当山は今年、二つの大きな節目を迎えました。その一つは当寺留学僧
育英会が設立十周年を迎えたこと、いま一つは当寺開創二十五周年に正
当したことであります。よつてまず、留学僧育英会設立十周年記念につ
いては去る二月二十日、駒澤大学総長桜井秀雄老師を導師に仰ぎ記念法
要を厳修し、ついで韓国、仏宝の本山、通度寺の老天月下方丈を拝請し
て記念式典を挙行しました。

こうに一言すると、日本では住職即方丈ですが、韓国では方丈と尊称される高德は全国で四人だけで、老天月下方丈は翌四月に曹溪宗の宗正（管長）に御就任なられた韓国仏教界の最高位のお方であります。

次に開創二十五周年記念については、五月三十日、大本山總持寺を会場として、五百五十余名の御参加をいただき洵に盛大裡に挙行することができました。まず梅田信隆貫首禅師御親修により大祖堂で記念法要を厳修し、ついで瑞応殿において記念式典、そして三松閣四階大広間で祝膳という、四時間に及ぶ一大イベントでした。

次に私事ですが、八月には権大教師に補任され、黄恩衣着用の榮譽を担いました。諸大徳の御指導、法友諸師の鞭撻、そして檀信徒の皆様のご協力御支援に心から感謝申し上げます、今後さらなる御引き立てをお願い申し上げます次第であります。